

暖地におけるイネ縮葉枯病の防除に関する研究

6.ほ場検定による抵抗性の品種間差異について

上原等・佐藤芳久

'61,'62 および'64年の3ケ年にわたり,県内主要栽培品種,中国四国各県奨励品種およびいくつかの新品種など合計90余の品種について,ほ場における自然発病によって抵抗性を検定した。3ケ年とも発病が激しく抵抗性を検定するうえに十分な発病がみられた。日本水稲はすべて罹病性で強抵抗性品種のないことはすでに明らかにされておりであったが,しかし,罹病程度にはかなりの差がみられた。農林省中国農試で育成された。St. No.1は発病皆無に近い強抵抗性がみとめられ,食味もよい。たゞニカメイチュウともんがれ病に弱い欠点が見られたが日本水稲型の抵抗性品種としては注目に値するものといえる。